

武蔵村山市
第二期
まち・ひと・しごと創生
総合戦略 【概要版】
令和2年度～令和6年度

令和2年3月
武蔵村山市

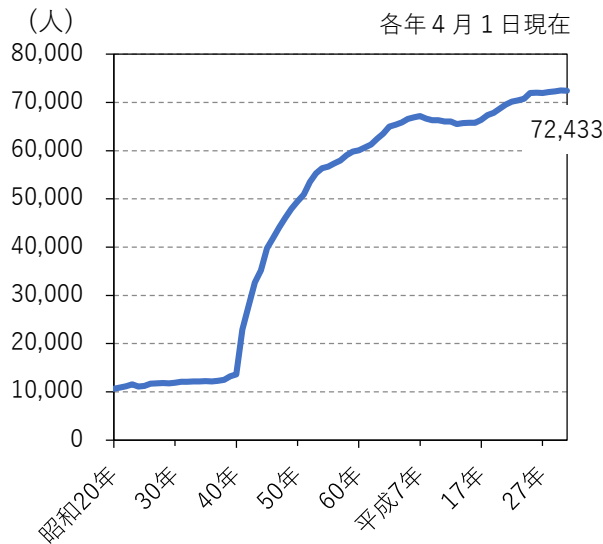
武蔵村山市の現状

(1) 人口

総人口は増加しているものの、年少人口及び生産年齢人口が僅かに減少し、老年人口が増加しているため、少子高齢化が進行しています。

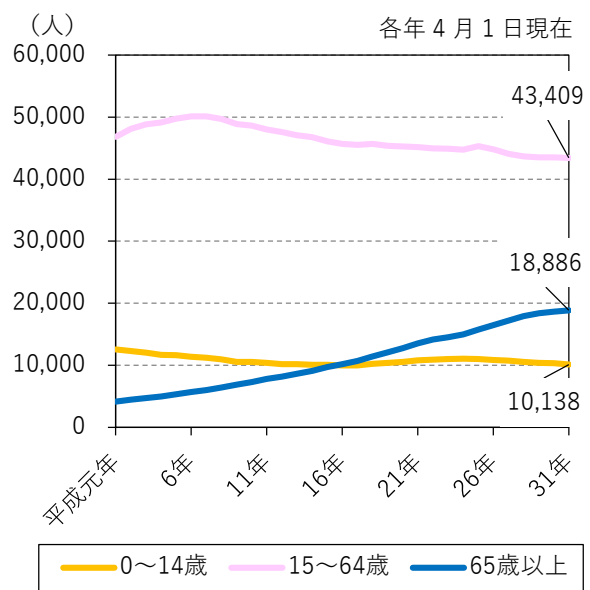
総人口
72,433 人
(平成 31 年 4 月 1 日)

図1 人口推移



出典:住民基本台帳

図2 年齢3区分による人口推移



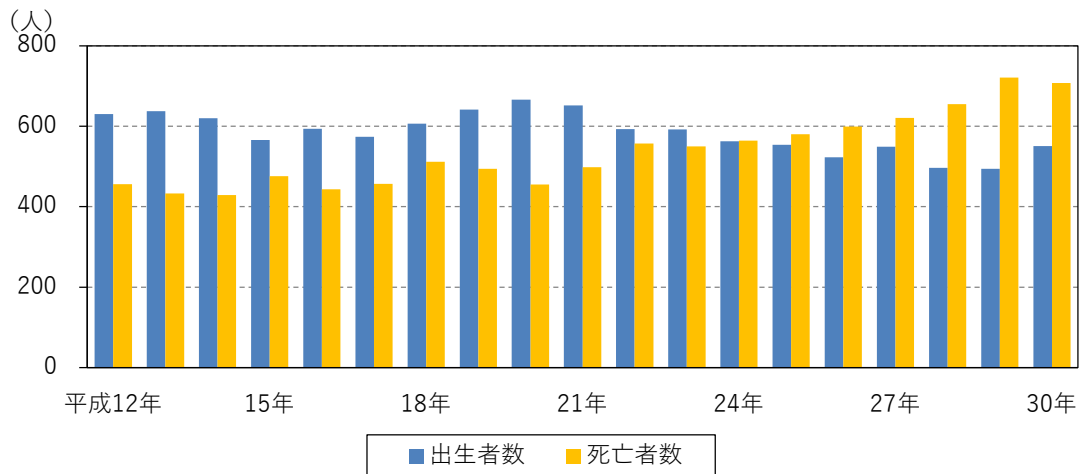
出典:住民基本台帳

(2) 出生者数・死亡者数

出生者数は平成 20 (2008) 年以降、減少傾向を示しています。平成 24 (2012) 年以降、死亡者数が出生者数を上回るようになり、人口動態としては自然減の状況となっています。

出生者数 死亡者数
551 人 707 人
(平成 30 年)

図3 出生者数・死亡者数の推移



出典:住民基本台帳

(3) 合計特殊出生率

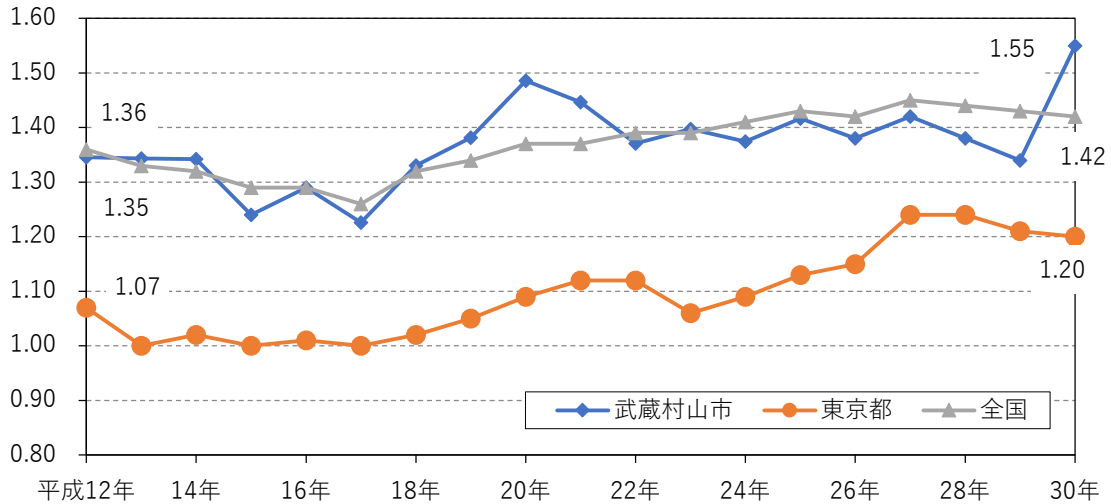
合計特殊出生率は全国平均を下回って推移しているものの、東京都平均よりも高い水準で推移しています。なお、平成30（2018）年の合計特殊出生率は、東京都平均及び全国平均よりも高く、都内の区市の中では最も高い数値となっています。

合計特殊出生率

1.55

(平成30年)

図4 合計特殊出生率の推移



出典: 東京都人口動態統計(全国は厚生労働省「人口動態統計」)

(4) 転入者数・転出者数

平成26（2014）年は僅かに転出超過となりましたが、転入超過の傾向が続いています。

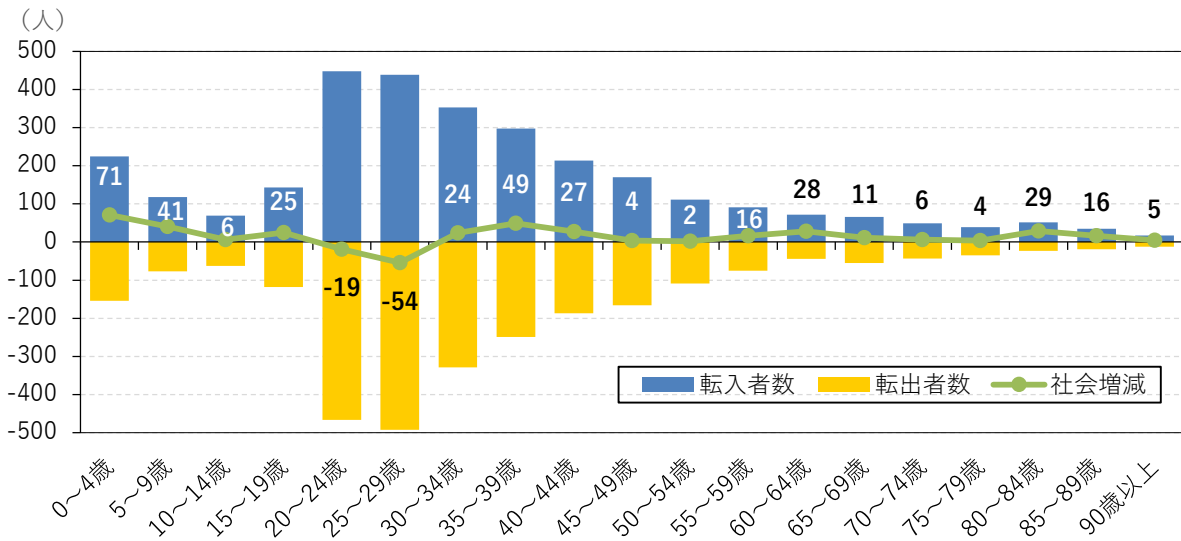
住民の転入元・転出先とも、立川市、東大和市、昭島市の順に多くっており、いずれも転入超過となっています。

転入者数 転出者数

3,237人 3,024人

(平成30年)

図5 年齢5歳階級別転入者数・転出者数の状況:平成30(2018)年



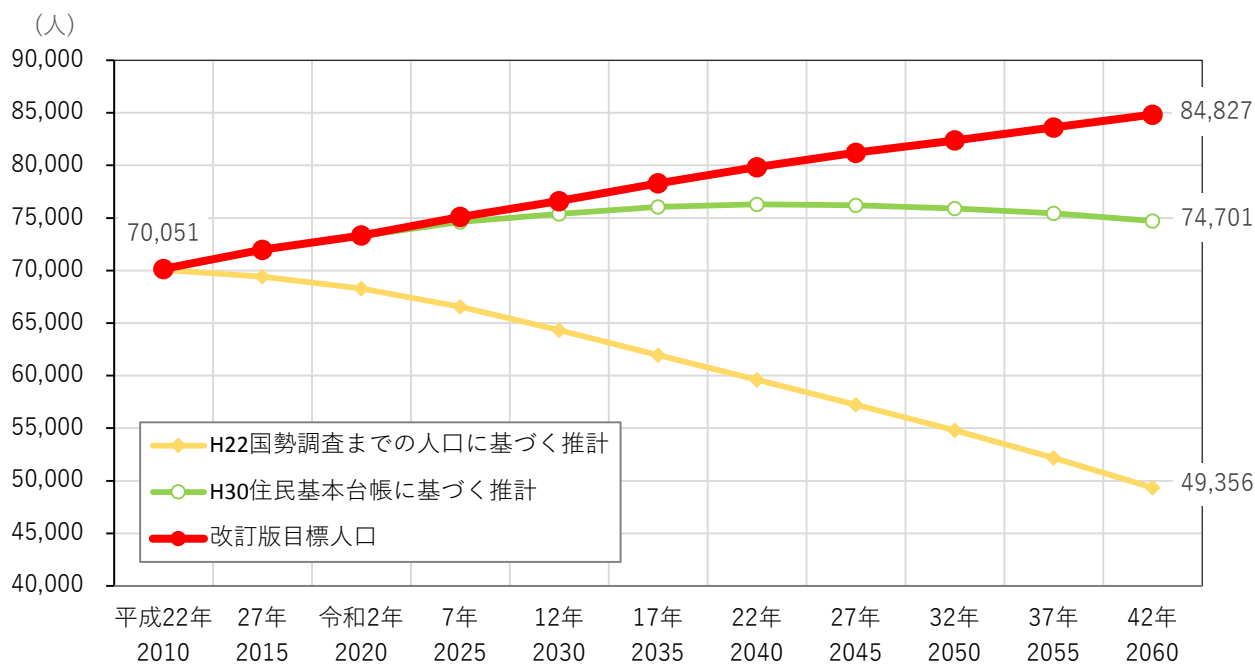
出典: 住民基本台帳人口移動報告

武蔵村山市の今後

人口の将来展望

住民基本台帳による推計、国勢調査による推計いずれも、令和42（2060）年時点で人口は減少するものと予測されています。また、老年人口は増加し、高齢化率も拡大する見込みとなっています。

図6 人口推計と目標人口



人口の変化が地域にもたらす影響

1. 行財政への影響

高齢化率の上昇に伴い社会保障関係費の増加が見込まれる一方、生産年齢人口の減少が税収の減少をもたらすことから、財政調整基金の枯渇や市単独事業等の政策経費に充当する一般財源の減少等、財政状況の悪化が懸念されます。

2. 生活への影響

本市は持ち家率が高いため、将来的な人口減少により多くの空き家が発生する可能性があります。このことは、防災、防犯、衛生、景観等の観点から生活環境や市民生活に悪影響を及ぼす可能性があります。

3. 都市インフラへの影響

公共施設の老朽化により大規模修繕、更新等が必要となりますが、財政状況の悪化により対応が難しくなるものと予想されるため、効果的・効率的なファシリティマネジメントの着実な実行が求められます。

総合戦略での取組

視点1
本市への来
訪者の増加
を図る

基本目標1

まちの魅力を向上させ、新たなひとの流れをつくる

観光や就業などで市外から本市を訪れる交流人口を増やし、本市の魅力を周知することで将来的に定住へとつなげることを目指します。そのため、広報戦略に基づいた市の魅力の発信、「しごと」の創出、観光施策の推進、多摩都市モノレールの市内延伸に向けた促進活動や魅力あるまちづくりなどに取り組み、地域の活性化と魅力の発信に努めます。

視点2
年少人口・将
来的な生産
年齢人口の
増加を図る

基本目標2

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

本市では、若年世代の大半が2人以上の子どもを産み育てたいと希望しています。その希望をかなえることが少子化及び人口減少の克服につながることから、結婚から出産、子育てまでの一貫した支援を行い、さらには子育てと仕事の両立を図ることで、子どもを産み育てやすいまちづくりを進めます。

視点3
住み続けたい
と思うまち
づくりを進
める

基本目標3

誰もが安心して暮らし続けられる地域をつくる

誰もが本市に住み続けたいと思うためには、健康で豊かな暮らし、安心して過ごすことができる暮らしを実現することが大切です。個々人の健康増進のみならず、地域コミュニティの強化・活性化を図ることにより、防災・防犯における共助や地域福祉の拡充はもとより、地域共生社会の実現を目指し、高齢者や障害のある人など、誰もがいきいきと住み続けられるまちづくりを推進します。

基本目標 1

まちの魅力を向上させ、新たなひとの流れをつくる

1. 戦略的な情報発信

- (1) 広報戦略の推進
- (2) 市ホームページの情報整理及び充実
- (3) SNSの活用

2. 創業を希望している市民への支援

3. 産業の振興と雇用の促進

- (1) 産業振興ビジョンの策定
- (2) 新青梅街道沿道への企業誘致
- (3) 伊奈平地区工業地域の基盤整備
- (4) 女性の活躍促進
- (5) 地域ブランド認証の普及促進
- (6) 村山大島紬の振興

4. 時代のニーズに対応する農業の創造

- (1) 認定農業者への支援
- (2) 観光農園の周知・観光案内の充実
- (3) 農業体験の場の拡充

5. 個性豊かな観光施策の推進

- (1) 狭山丘陵の活用
- (2) 観光情報の発信
- (3) 「武蔵村山魅力マイスター」の活動促進
- (4) ロケーションサービスの実施
- (5) 歴史的文化的資源の活用

6. 利便性の高い公共交通網の形成

- (1) 多摩都市モノレールの市内延伸の早期実現
- (2) 公共交通の充実

7. にぎわいと活力のある魅力的なみち・まちづくり

- (1) 新青梅街道沿道地区まちづくり
- (2) 都市核地区土地区画整理事業の推進
- (3) 立川都市計画道路3・4・39号線整備事業の推進

基本目標 2

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

1. 結婚・妊娠・出産・子育てへの支援

- (1) 結婚、妊娠、出産、子育ての切れ目のない支援
- (2) 教育・保育ニーズ等への対応
- (3) 子育ての支援
- (4) 子育てと仕事を両立する環境づくり

2. 子育てしやすいまちづくり

- (1) 子どもとお出かけしやすいまちづくり
- (2) 親と子の居場所づくり
- (3) 子どもの安全・安心の確保
- (4) 子どもの貧困対策の推進

3. 子どもの知力・体力の向上

- (1) 子どもの知力の向上
- (2) 子どもの体力の向上

4. 教育環境の整備

- (1) 教育相談体制の充実
- (2) 教育環境の充実

基本目標 3

誰もが安心して暮らし続けられる地域をつくる

1. 交通利便性や買い物環境の向上に向けたまちづくり

- (1) 交通利便性の向上
- (2) 買い物環境の充実

2. 安心して暮らせるまちづくり

- (1) 地域コミュニティの強化・活性化
- (2) 防災対策の充実・強化
- (3) 交通安全対策の充実・強化

3. 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

- (1) 心身の健康づくりの推進
- (2) 生涯学習・スポーツの推進
- (3) 高齢者が住み続けられるまちづくり
- (4) 障害のある人が安心して暮らせるまちづくり



武蔵村山市

武蔵村山市第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略
(令和2年度～令和6年度)

発行年月／令和2年3月

発行／武蔵村山市

編集／武蔵村山市企画財務部企画政策課

〒208-8501

武蔵村山市本町一丁目1番地の1

TEL 042 (565) 1111 (代表)